

仙台市水道事業基本計画（中間案）概要版

人口減少社会を迎えるなか、仙台の水道は、水需要減少、施設の老朽化、水道料金収入の減少、マンパワー不足など、様々な課題に直面しています。将来にわたって持続可能な事業運営を実現するために、80年先の将来を見据えて目指す将来像と、その実現に向けた今後10年間の取組の方向性を示します。

将来は **いま** 創られる！



基本理念

未来へつなぐ 杜の都の水の道

～市民・事業者との協働～

仙台の水道は、令和5年に給水開始100周年を迎えます。100年後の未来にも、仙台の水道を引き継いでいくために、市民・事業者の皆さまと協働して取り組んでいきます。

〔本編P 21〕

将来像 **1**
水道システムの最適化

将来像 **2**
持続可能な経営

将来像 **3**
関係者との連携強化

3つの将来像の実現に向けて、今後10年間は**12の施策の基本的方向性**に取り組みます（次ページ以降を参照）

中間案に関するご意見の提出方法などについては、中間案本編P55～をご覧ください。

将来像

[本編P24-33]

1 水道システムの最適化

効率的な水運用やリスク管理を行うことができる最適な水道システムを次世代に継承し、将来にわたって安全で良質な水道水を供給します

方向性
1

お客さまが実感できる 良好な水道水質の実現

水質の検査・監視の徹底

品質管理

法令51+独自150以上を検査

美味しさ

数値と人の味覚で管理

安定供給

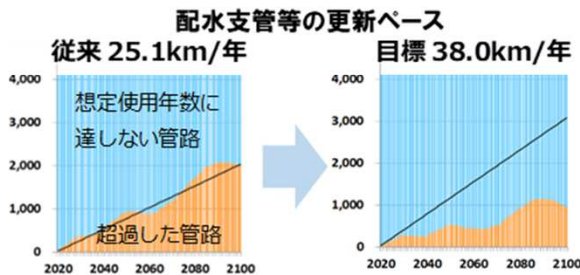
24時間365日体制で監視



方向性
2

災害に強い施設・システム づくりの推進

管路更新ペースアップ



方向性
3

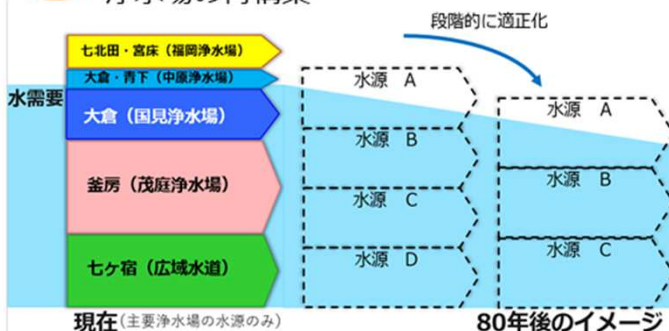
被災時にも給水が継続できる 体制の強化

応急給水体制の拡充



方向性
4

水需要に合わせた施設の再構築 浄水場の再構築



将来像

[本編P34-42]

2 持続可能な経営

方向性
5

アセットマネジメントによる ライフサイクルコストの縮減

資産ごとの対応方針の検討

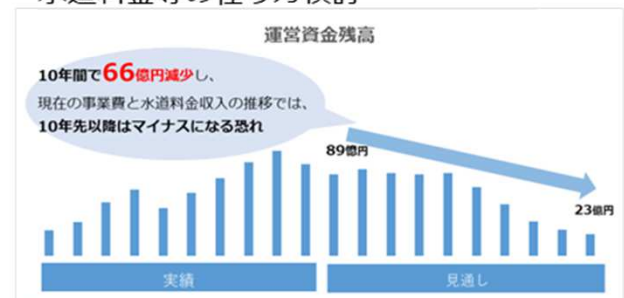
機械・電気設備では、修繕履歴やリスクなどの情報から、予防保全や事後保全の最適な対応を選択します。



方向性
6

将来の更新財源確保に向けた 水道料金等の在り方検討

水道料金等の在り方検討



方向性
7

新技術導入等による業務の効率化

ICTによる効率化戦略の検討

AIやRPA等の新たなICT技術などの活用により業務の効率化やサービス向上を調査・検討を行います。

※RPA(Robotic Process Automation)

パソコン上の定型業務をソフトウェアが代行すること

方向性
8

水道事業を支える人材の確保・ 育成及び組織体制の強化

キャリアを意識した人材育成

水道局職員が
目指すべき人材像
⇒「3つの力」を
持つ職員



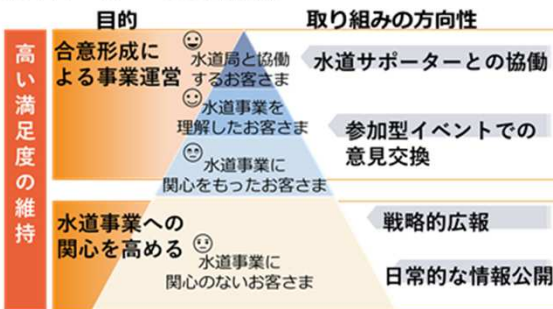
3 関係者との連携強化

お客さま、近隣水道事業者、民間事業者、仙台市水道サービス公社、関係者の皆さまとの連携・協働による課題解決に取り組みます

方向性
9

お客さまとの双方向コミュニケーション充実による開かれた経営の実現

水道サポーターとの協働



方向性
10

災害対応における地域・他の水道事業者・民間事業者との連携強化

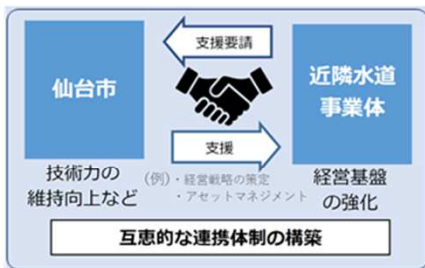
地域との協働・連携



方向性
11

本市の技術力・ノウハウ・ネットワークを活かした近隣事業者との連携強化

近隣事業者との連携強化



方向性
12

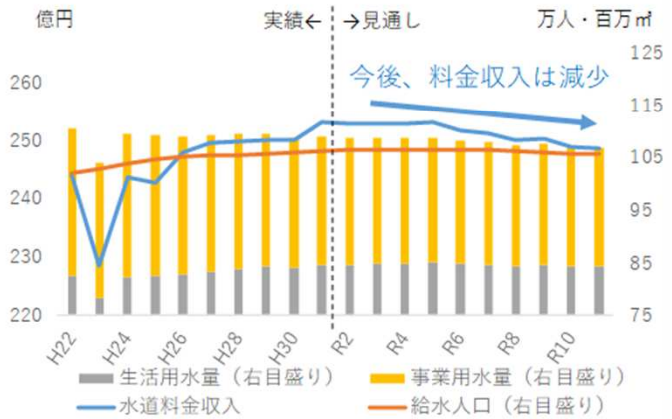
民間事業者・仙台市水道サービス公社との更なる協働

民間事業者等の技術力の向上支援

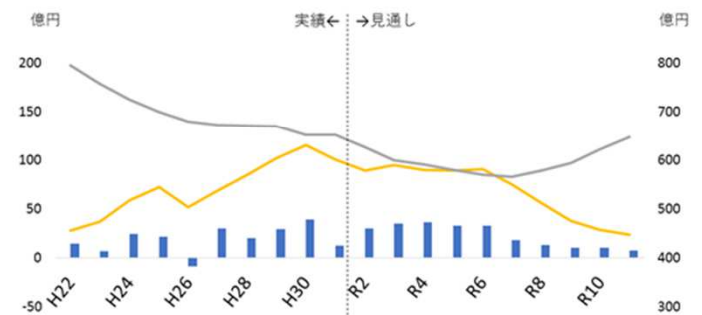


財政収支見通しと財政運営の考え方

各施策を着実に推進し、持続可能な経営を維持するために、引き続き健全かつ安定的な財政運営を進めます



企業債残高の縮減、安定的な運営資金の確保、純利益の確保により、健全かつ安定的な財政運営を進めていきます。



■ 純利益

水道料金収入の減や建設改良費の増に伴う減価償却費の増等により減少が見込まれますが、1年間の営業活動等に必要の費用は水道料金等の収益で賄えるようにします。

— 運営資金残高

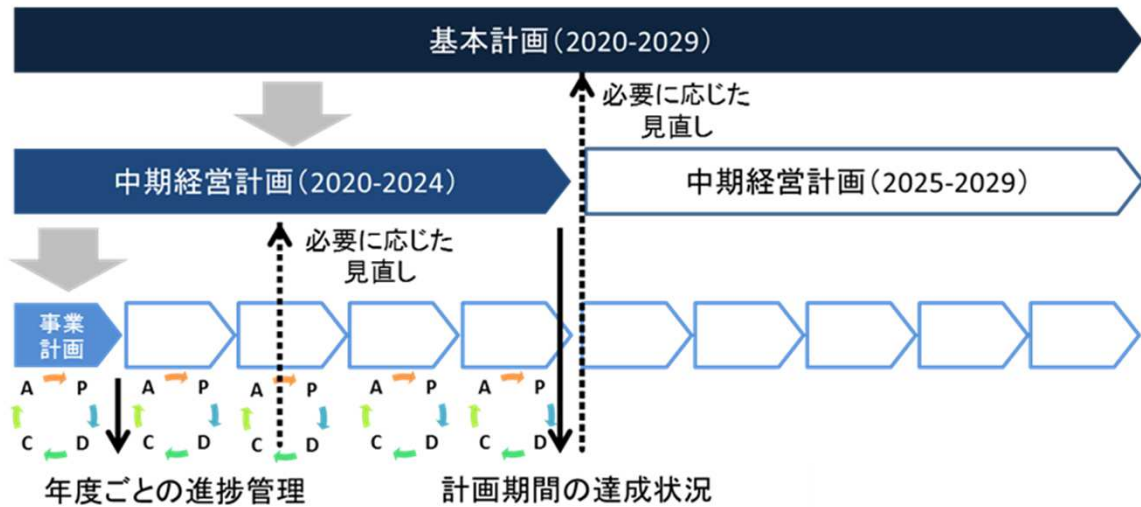
持続可能な経営を維持できる資金を確保していきます。

— 企業債残高

令和元年度の残高を超えない水準を維持していきます。

推進体制 〔本編 P 54〕

10年間の基本計画に基づき、今後5年間の具体的な事業スケジュール等を示した「仙台市水道事業中期経営計画」を策定し、年度ごとにPDCAサイクルによる進捗管理をしていきます。



新しく以下の3つの取組を行います。

- 1 **NEW** 将来像・施策の基本的方向性の評価
- 2 **NEW** 「(仮称)仙台市水道事業経営審議会」の新設
- 3 **NEW** 「お客さま意識調査」の継続的な実施

策定経過

計画策定にあたり、関係分野の有識者7名で構成する「仙台市水道事業基本計画検討委員会」で議論し、中間案を策定しました。

第1回 H30.11	委員会の運営 仙台市水道事業基本計画の策定
第2回 H31.2	仙台市水道事業の将来見通し 水道に関するお客さま意識調査結果
第3回 H31.4	仙台市水道事業の基本理念と将来像
第4回 R1.6	仙台市水道事業基本計画の骨子案
第5回 R1.8	仙台市水道事業基本計画の中間案

【委員】 (◎委員長、○副委員長、敬称略)

役職等	氏名
作新学院大学 名誉教授	◎太田 正
東北大学大学院工学研究科 教授	○西村 修
東北大学災害科学国際研究所 准教授	有働 恵子
仙台商工会議所女性会 会長	佐藤 万里子
早稲田大学大学院 准教授	佐藤 裕弥
東北大学大学院工学研究科 教授	久田 真
特定非営利活動法人 仙台・みやぎ消費者支援ネット 副代表理事	若狭 久美子

担当：仙台市水道局総務部企画財務課
 〒982-8585 仙台市太白区南大野田29-1
 TEL:022-304-0010 FAX:022-249-2006
 電子メール：kizai073120@city.sendai.jp